

## 九段坂公園等の現状と基本方針について

### 1 九段坂公園の概要

九段坂公園は、靖国通りの千鳥ヶ淵側に面した道路沿いの公園で面積は1,548㎡、長さは約100mです。公園の施設には田安門側から常燈明台、品川像、大山像、大山元帥顕彰碑、トイレ等があります。

また、公園西側の消防署跡地は、500㎡の平地となっており、ちよくるサイクルポートがあります。南側に千鳥ヶ淵や東京タワーの眺望が開けています。

#### □公園概要（財務省用地、千代田区管理）

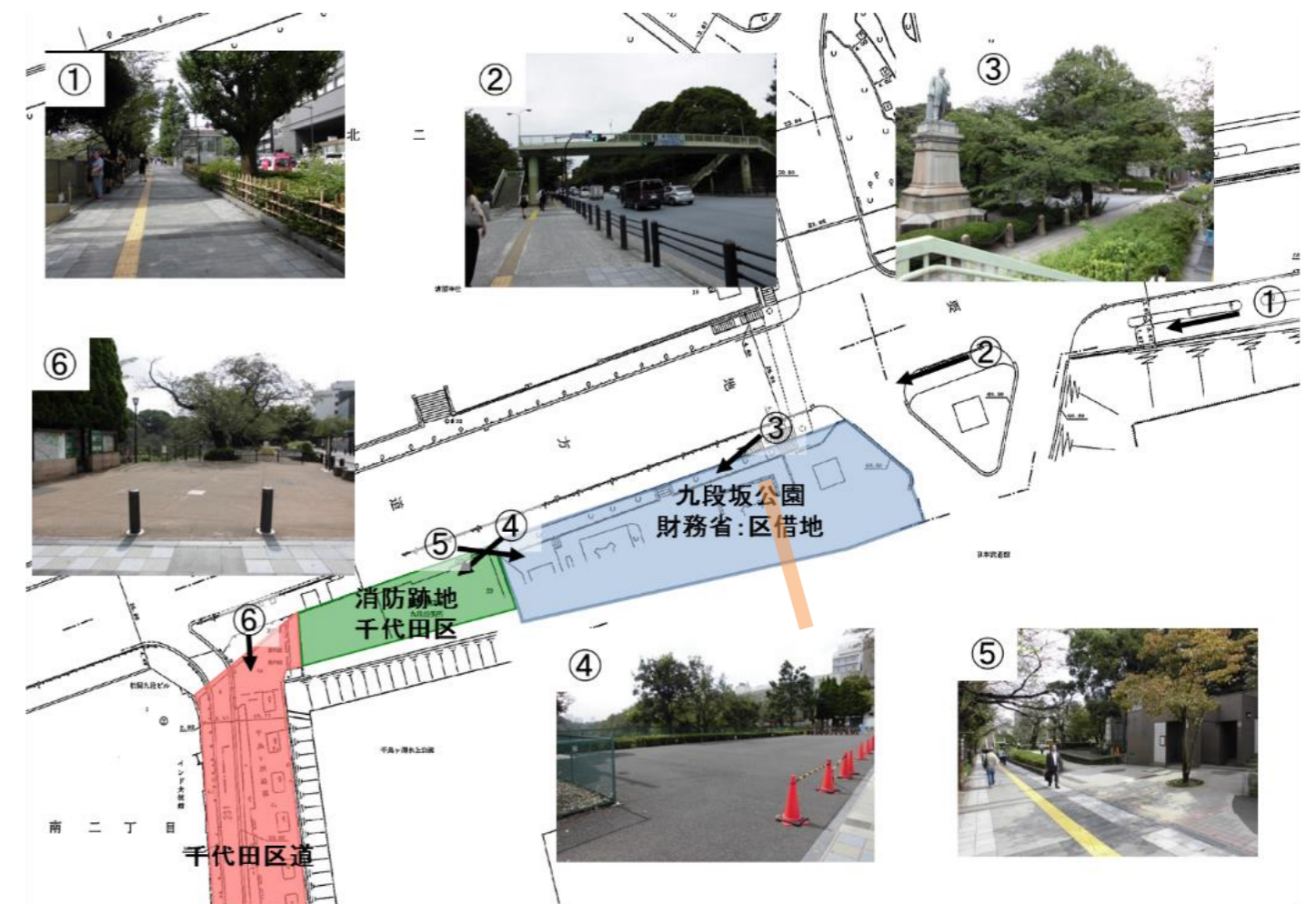
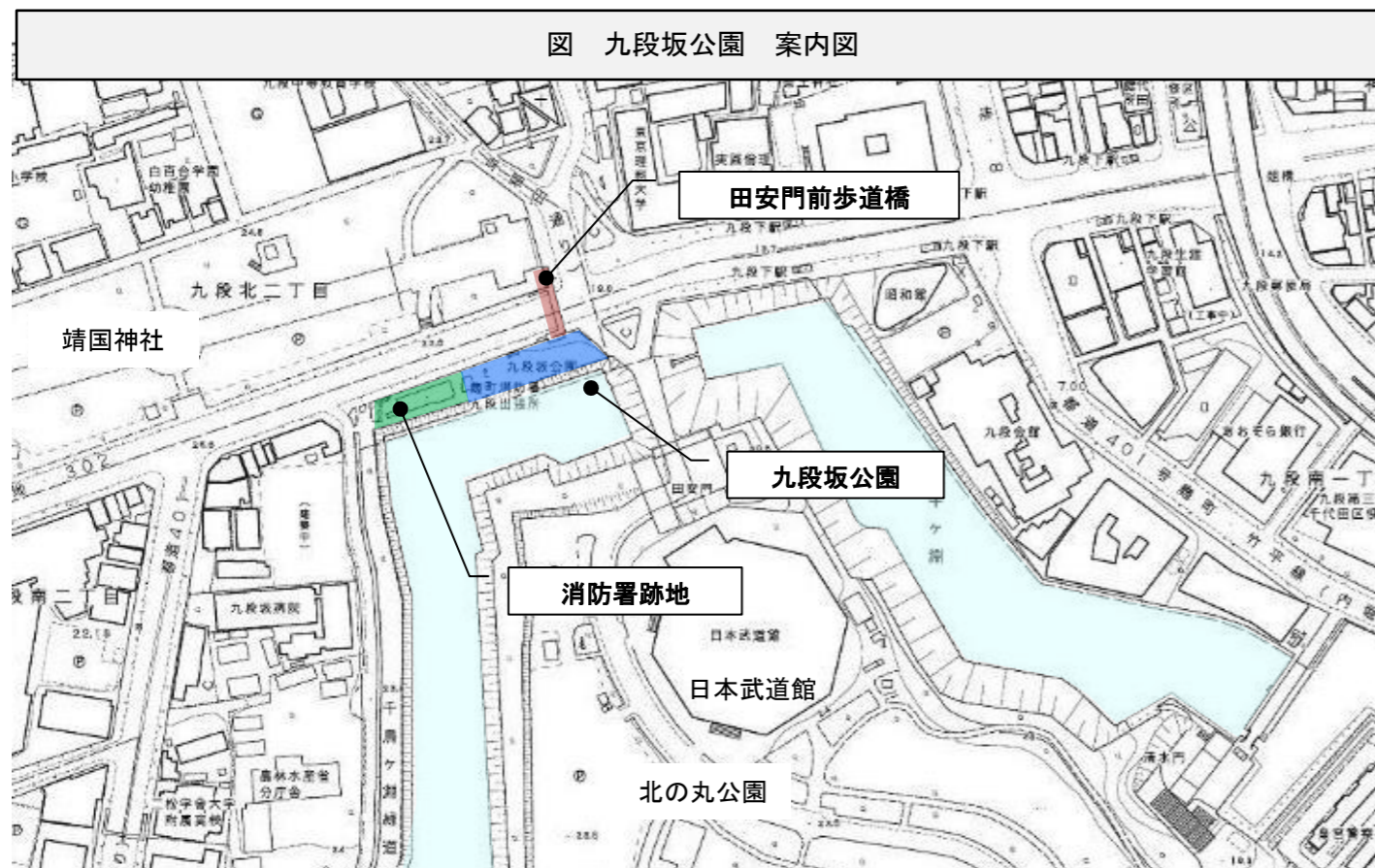
開園月日 昭和40年7月1日  
 面積 1548.06㎡  
 主要施設 広場 約637㎡（通路含む）  
 緑地 約704㎡  
 便所 1.0箇所(37.36㎡)  
 記念碑等 3.0基  
 （公園の大きな面積を占めている）  
 公園灯 8.0基

#### □消防署跡地（千代田区）

面積 約500㎡  
 主要施設 レンタルサイクル ちよくるサイクルポート



田安門前歩道橋から見た九段坂公園



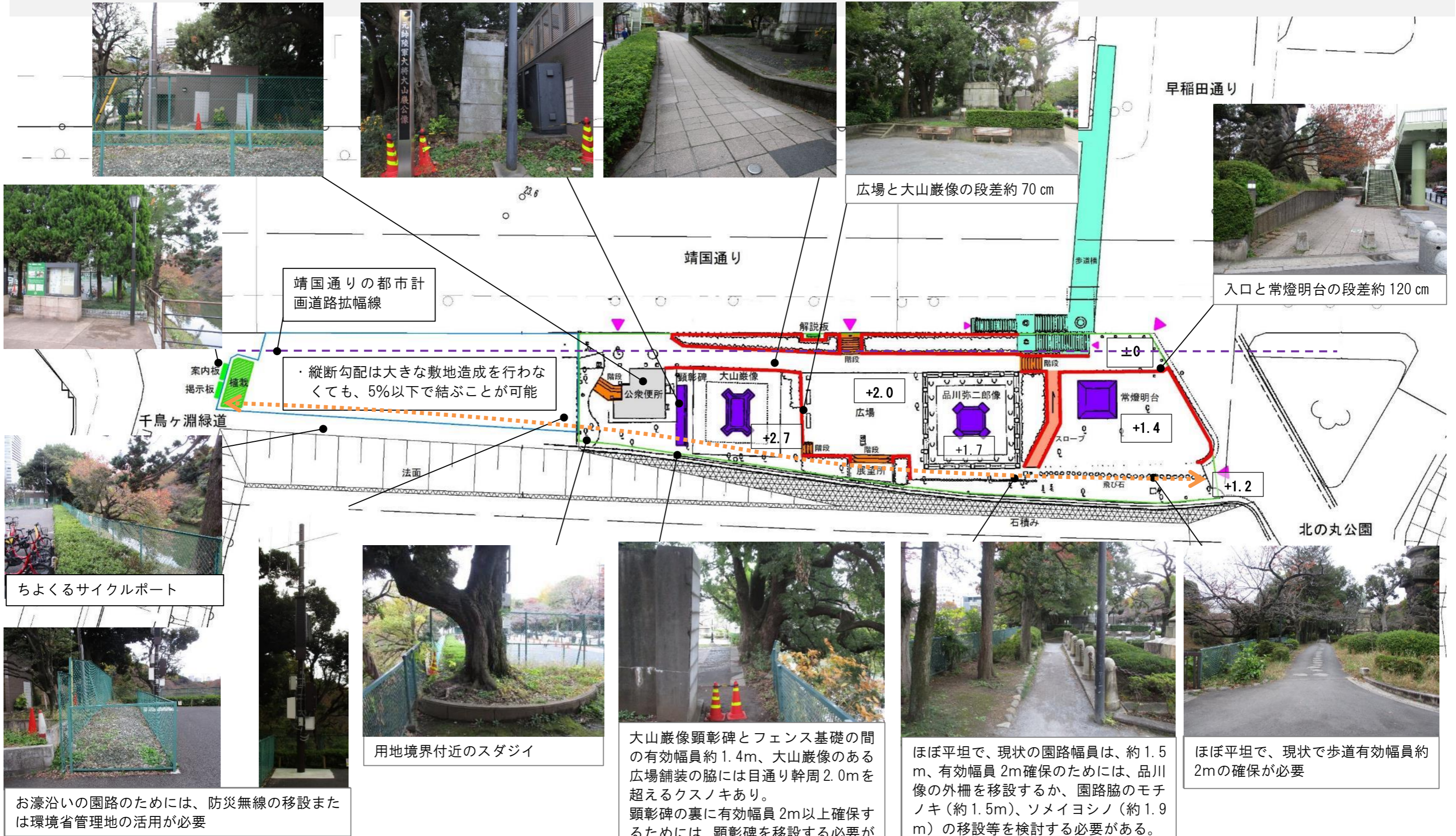
## 2 九段坂公園の現況等

### 課題1

- ・公衆便所・大山像の前の九段坂公園園路は、波打っており、銅像にはお濠側や消防署跡地側に傾きがあります。
- ・九段坂公園側は、高低差がありますが消防署側は平坦です。

### 課題2

- ・常燈明台、品川像、大山像は、切土又は古い盛土の上にあると考えられ、地質調査等が望まれます。
- ・公衆便所周辺は新たな盛土との境界付近に位置する可能性。



### 3 九段坂公園に関するこれまでの議論と基本的な考え方

#### □これまでの委員会における九段坂公園に関する意見

- 銅像の裏側が狭いです。
- 歩道橋については、撤去も視野に入れて検討し方がよいです。
- ソフト・レガシーについて配慮した方がよいです。
- 銅像に対して説明がないです。
- 静かに落ち着いて散策や学習ができる空間として楽しみたいと思います。
- 外国人が来るのは景観が良いことと、入場料等がかからないことです。
- 多言語案内があると良いと思います。
- 歴史的な遺産も多く、素晴らしい環境です。
- 東京2020大会\*の開催時の暑さ対策及び快適に過ごせる工夫が必要と思われる。
- 利用促進には、トイレ、休憩、飲食、多言語案内があると良いと思います。

#### □昨年度まとめた管理者会議の意見

- バリアとなる段差の解消が望まれます。
- 多言語対応のサイン表示が望まれます。
- 歩行者の滞留を分散・抑制する仕掛けの導入が望まれます。
- 見晴らし台が設置（千鳥ヶ淵を一望できる展望空間の創出）望まれます。
- 公園から緑道への連続性の確保が望まれます。
- サイクルポートの再設置が望まれます。
- 公園施設の再配置が望まれます。
- 舗装デザイン・ベンチの再配置（銅像の裏側が狭い）が望まれます。

#### ■歴史的資源



大山巖像



品川弥二郎像



常燈明台

#### ■景観（眺望）環境保全



九段坂公園（消防署跡地）からの千鳥ヶ淵と桜の眺望

#### □九段坂公園の整備の考え方

##### ■整備の位置づけ

- 消防署跡地は、現在景観スポット、サイクルポートの設置場の役割を果たし、また、Wifiや防災無線の発信場にもなっている。緑道と九段坂公園を結び拠点になり得る位置にあります。
- 九段坂公園は開園以来、大きな改修はなく施設の老朽化も目立ち一部敷地の変形もある。公園としてバリアを多く残した状態にあります。

##### ■整備のコンセプト

「飯田橋方面、九段下、市ヶ谷方面から来た人々が初めに立ち寄るなど拠点となる場所、そこから、田安門へ、千鳥ヶ淵の緑道へ、北の丸公園へそれぞれのスポットに広がっていく人の回遊性を促します」

→九段坂公園、消防署跡地を一体整備し、千鳥ヶ淵緑道の連続性を産み出します。一方「千鳥ヶ淵への絶好の眺望ポイント」という立地を活かした「ゆとりのある空間と北の丸公園周辺のスポット基地」として整備をします。

この空間に求められる機能は、以下のとおりです。

- ① 史跡の解説、インフォメーションなどの文化や観光の情報発信
- ② 千鳥ヶ淵などへの眺望機能・快適な休憩機能
- ③ 地区の中心としての広場機能、魅力アップ

##### ■九段坂公園の整備方針

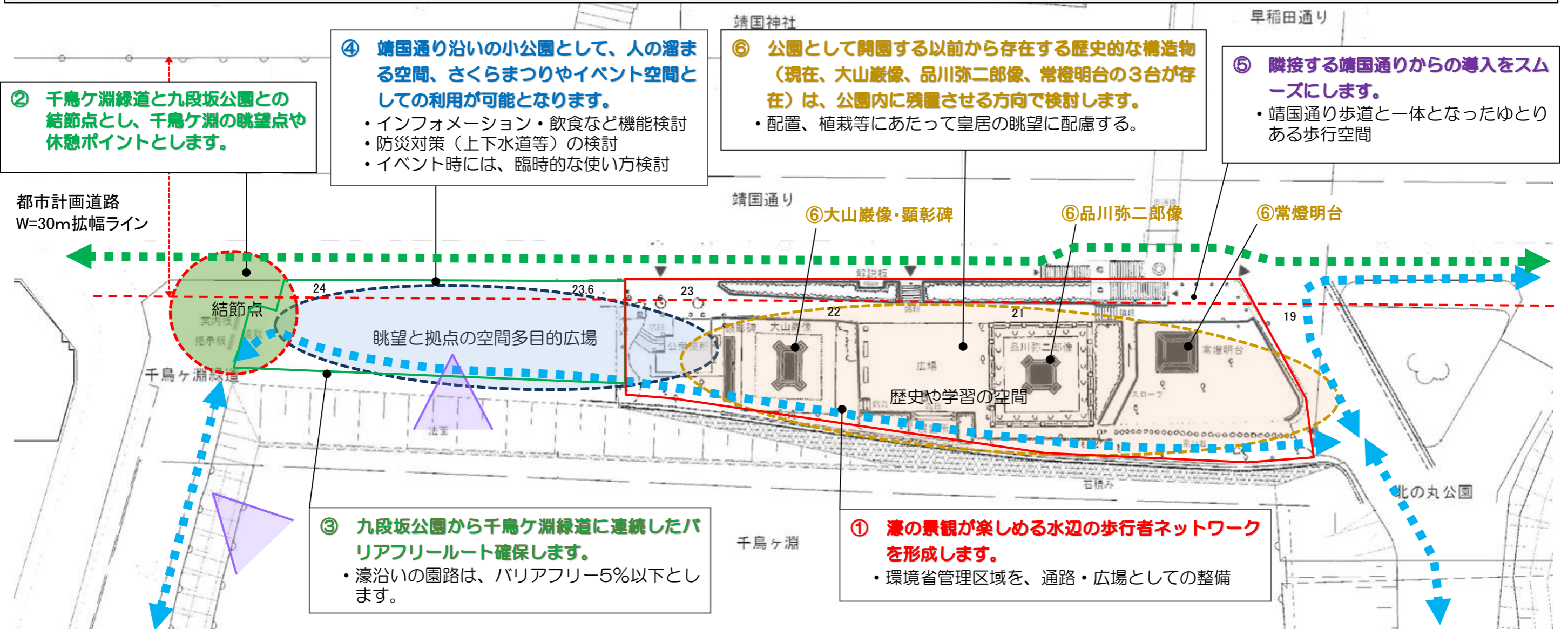
- ① お濠の景観が楽しめる水辺の歩行者ネットワークを形成します。
- ② 千鳥ヶ淵緑道と九段坂公園との結節点とし、千鳥ヶ淵の眺望点や休憩ポイントとします。
- ③ 九段坂公園から千鳥ヶ淵緑道に連続したバリアフリールート確保します。
- ④ 靖国通り沿いの小公園として、人の溜まる空間、さくらまつりやイベント空間としての利用を図ります。また、防災時の情報発信機能を検討します。
- ⑤ 隣接する靖国通りからの導入をスムーズにします。
- ⑥ 公園として開園する以前から存在する歴史的な構造物（現在、大山巖像、品川弥二郎像、常燈明台の3台が存在）は、公園内に残置させる方向で検討します。

## 4 九段坂公園の整備について

### ■基本方針

- ① お濠の景観が楽しめる水辺の歩行者ネットワークを形成します。
- ② 千鳥ヶ淵緑道と九段坂公園との結節点とし、千鳥ヶ淵の眺望点や休憩ポイントとします。
- ③ 九段坂公園から千鳥ヶ淵緑道に連続したバリアフリールート確保します。
- ④ 靖国通り沿いの小公園として、人の溜まる空間、さくらまつりやイベント空間としての利用を図ります。また、防災時の情報発信機能を検討します。
- ⑤ 隣接する靖国通りからの導入をスムーズにします。
- ⑥ 公園として開園する以前から存在する歴史的な建造物（現在、大山巖像、品川弥二郎像、常燈明台の3台が存在）は、公園内に残置させる方向で検討します。

図 九段坂公園 整備方針



## 代官町通りの現状と基本方針について

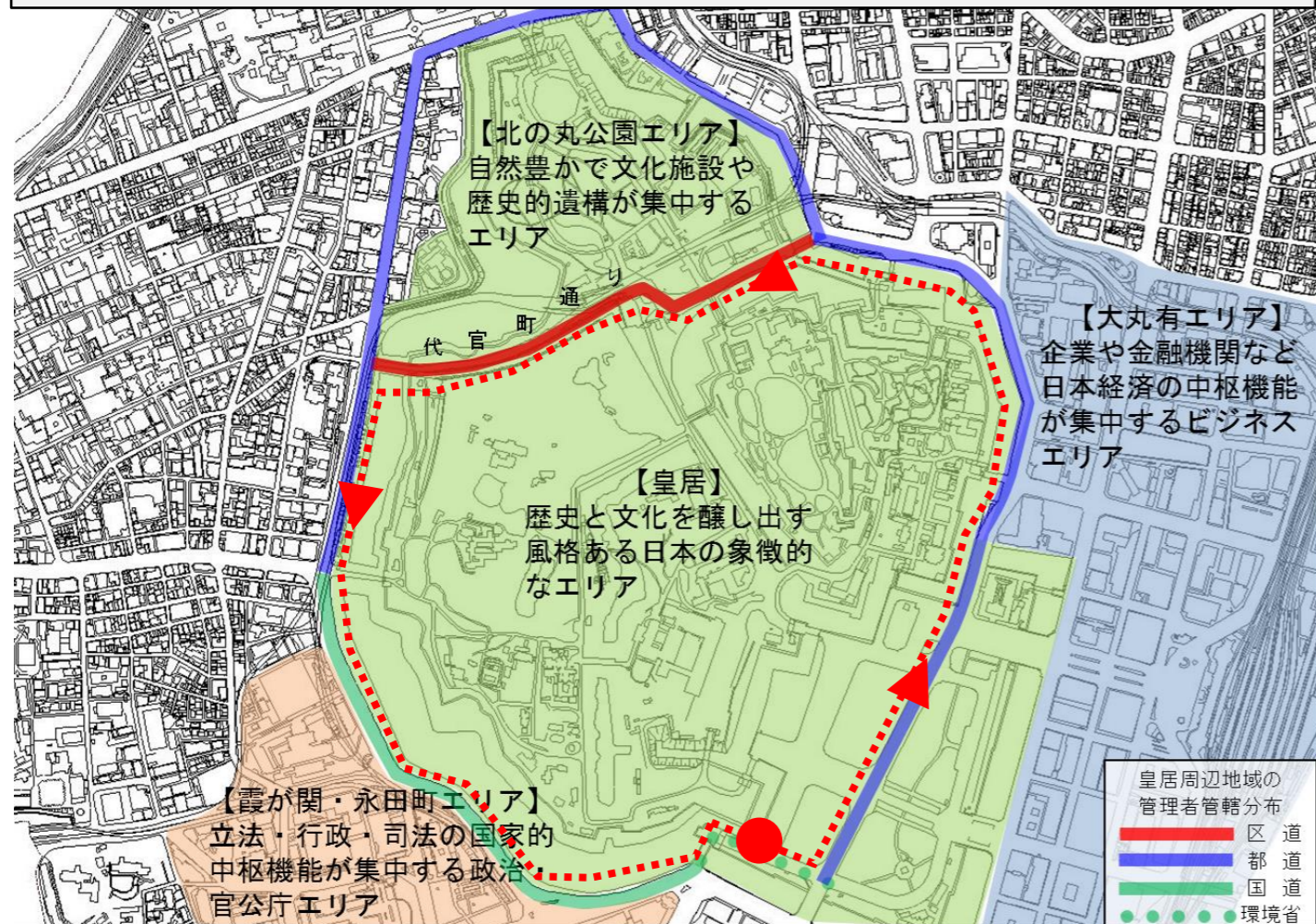
### 1 代官町通りの概要

代官町通りは、都道麹町竹平線（内堀通り）の千鳥ヶ淵交差点を起点とし、首都高速都心環状線代官町出入口、北の丸公園及び皇居乾門入口との交差する代官町交差点を経て、終点（竹橋交差点）に至る路線です。

北側は、北の丸公園に隣接し、東京国立近代美術館及び国立公文書館、工芸館等が沿道に立地しています。また、南側の歩道は、皇居ランニングコースに指定されています。

道路延長 1,080m  
 主要幅員 12.30~31.90m

図 代官町通りの周辺環境



●.....▶ 皇居ランニングコース（起点は、「桜田門時計台前広場」）



代官町通り 北側土手歩道部



国立近代美術館工芸館前歩道橋



高速道路料金所前の横断歩道



みたけ橋歩道橋

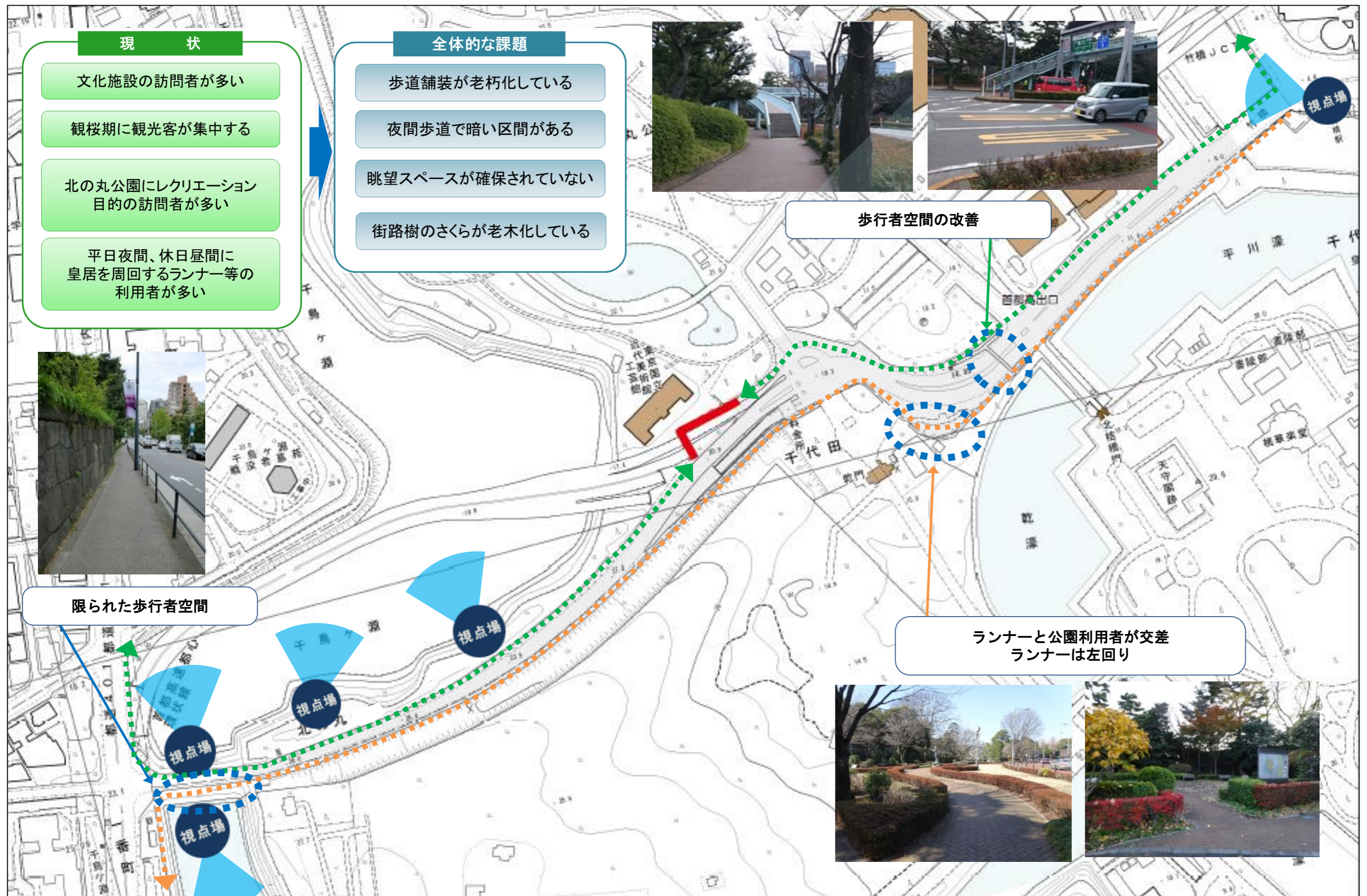


みたけ橋歩道橋上部から竹橋方面



竹橋駅方向の北側歩道（暫定 Google アースより）

## 2 代官町通りの現状と課題



### 3 代官町通りに関するこれまでの議論と基本的な考え方

#### □皇居周辺地域委員会での検討経緯

- 皇居は、日本を代表する歴史・文化の象徴空間であり、多くの観光客や散策者が訪れている。近年では健康志向の傾向が強まり、皇居を周回するランナーや自転車利用者が増加し、利用者同士の接触やマナーの悪さなどによるトラブルが発生しています。千代田区は、すべての利用者が安全で快適に「共生」できる環境づくりに取り組み始めました。
- 平成23年12月 道路等の管理者と利用者が一体となった検討組織「皇居周辺地域委員会」を設置しました。
- 平成25年6月 管理者や利用者それぞれが取組む施策をまとめた基本方針を策定しました。
- 基本方針の一つである「道路環境の改良・修景整備」では、皇居周辺の公共空間がより安全で快適な空間になることを目指し、関係管理者間で改良・修景整備について調査・検討を行うことを示しました。

#### □東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催（千代田区内開催予定）

- 柔道、空手（日本武道館）
- 自転車競技／ロードレース（スタート・ゴール）皇居外苑
- ウェイトリフティング、パワーリフティング（東京国際フォーラム）



皇居周辺地域委員会資料から

#### □北の丸公園周辺地域委員会における代官町通りに関する意見

- 内堀通り、代官町通りのつなぎ空間について歩行空間の課題があります。
- 工芸館付近の歩道づくりが課題です。
- 歩道橋については、撤去も視野に入れて検討します。
- 皇居はランナー、歩行者との棲み分けが必要となります。
- 環境阻害要因を取り除くことが大切です。
- 首都高の出入り口があり、交通の安全性に配慮が必要です。
- 歩行者の安全性確保には配慮したいです。
- 利用促進にはトイレ、休憩、飲食、多言語案内があると良いです。
- おもてなし給水を北の丸周辺(代官町通り側)でも展開したいです。
- 土手の上の眺望や歴史、花等の魅力を伝える工夫が必要となります。
- 照明の演出が望まれます。
- 南北の歩道を連絡する横断箇所が少なく、道案内が必要となります。
- 歩行者への案内が少ないです。
- 安心して周遊できる環境整備が望まれます。
- 様々な施設がありますが、北の丸周辺の全体像が把握しにくいです。
- 静かに落ち着いて散策や学習ができる空間として楽しみたいです。

#### □昨年度まとめた管理者会議の意見

- 自転車対策の実施
- 歩行空間の整備
- 狭隘区間の解消
- 乾小公園と一体性のある広場空間の整備
- 皇居の緑豊かな森を通りにしみ出させる工夫
- 既存サイン、案内板の整理
- 内堀通り、代官町通りのつなぎ空間について歩行空間の課題

#### ■代官町通り整備のコンセプト

皇居周辺と北の丸公園周辺をつなぐ、みどり豊かな森のみち

## 4 代官町通りの整備について

### □代官町通り整備のコンセプト

皇居周辺と北の丸公園周辺をつなぐ、みどり豊かな森のみち

### □代官町通り整備の3つの基本方針

#### ① 公共空間の安全性の確保

様々な利用者が安全で快適に利用できる空間を目指し、利用状況を踏まえながら公共空間整備を進めます。

- ・ 拡幅等による歩道空間の充実
- ・ 歩道狭隘部を解消するための検討
- ・ 自転車利用者と歩行者の分離

#### ② 景観整備の推進

周辺整備の特色である緑豊かな空間を活かしながら、皇居周辺にふさわしい装いのある道路景観をつくり出します。

- ・ 老木化したさくらの更新と保存
- ・ 周辺自然体系を考慮した道路づくり
- ・ 道路施設の更新（舗装、ガードパイプ等）

#### ③ 地域回遊性の向上

皇居周辺を訪れる観光客や散策者が地域周辺を回遊したくなるような歩行空間を創出していきます。

- ・ 隣接する公園や施設等への誘導
- ・ 歩行者等のスムーズな通行を確保
- ・ 北の丸公園周辺の回遊性強化

歩道狭隘部の解消のための方策を継続的に検討します



サインの誘導等により代官町通り土手の遊歩道との回遊性を高めます



道路施設を更新し、周辺と調和した高質な景観をつくります（全体・特に工芸館前等）



老木化したさくらの更新と保全によりさくらの景観を守ります（全体）



自転車通行帯標示等により、歩行者と自転車の空間を分離し、安全な歩道をつくります（全体）



歩道の拡幅や植樹帯の改修等によりゆとりある歩行者空間をつくります（全体）



乾濠小公園との一体的な空間をつくります

